

トチカガミ

Hydrocharis dubia (Blume) Backer

トチカガミ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧 I 類

国カテゴリー

準絶滅危惧

選定理由

かつては産量は少なくとも、県内に広く分布したが、1960年代以降急減してきわめて稀産の種類となった。産地も殆ど限定されている。(現況:R-)

形態

比較的似ているのはミズオオバコである。葉は心円形で浮葉性。走出茎を出して、新しい株をつくる。葉の裏側に浮き袋がある。花には雄花と雌花がある。

国内分布

全国に分布。

県内分布

従来は白山高地区を除く県下全域に産したが、近年は著しく減少。近年は南加賀区、加賀中央区から報告がある。

生態など

枕水生多年生草本。花期は8～10月。秋から冬にかけて、水中の茎の先端が殖芽となって水底に沈み、越冬する。

生育環境

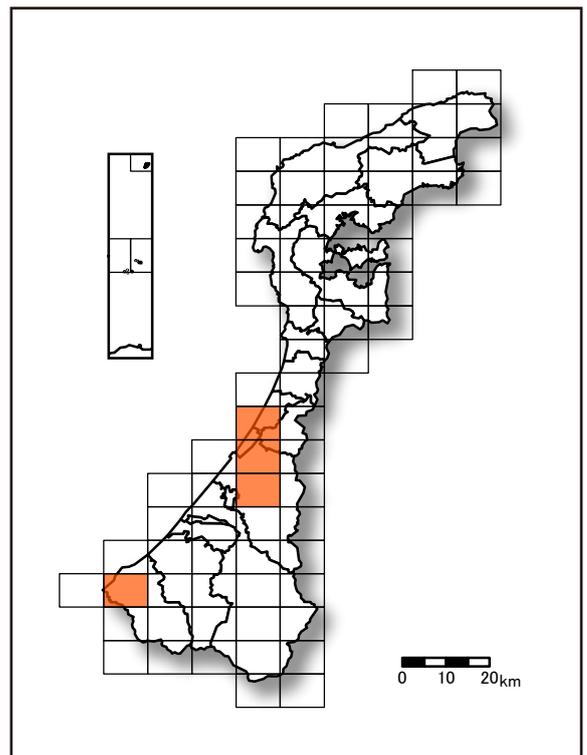
富栄養性の湖沼、池、溝に群生する。かつては水田雑草の一種。

危険要因

水質汚濁、水田近傍では農薬汚染。



白井伸和・2003年8月11日・金沢市



県内の分布